

別紙2

事務事業評価(事後評価)シート【令和4年度】

主管課名(担当名)	農林課(農政担当)		
事務事業名	根室西部地区道営草地整備事業	事業番号	12713
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input type="checkbox"/> 中間 <input checked="" type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6 農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	農業者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	草地構成の悪化や収穫の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正等を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減を図り、酪農経営基盤を強化する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H29)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H30	R1	R2	R3	R4		
1 10aあたりの牧草収料	3,221kg	3,642kg	3,518kg	3,821kg	3,507kg	3,908kg	3,800kg	3,900kg
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R4予算		R4決算		R5予算
				55,000		40,288		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			55,000		40,288		
	一般財源			0		0		
人員(人工)				0.17		0.17		
職員人件費(=人員(人工)×7,513千円)				1,277		1,277		
総事業費(=事業費+職員人件費)				56,277		41,565		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				14		11		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	離農が一因となり、1戸あたりの牧草地面積が増加している一方で、飼養頭数の増に伴う草地の管理不足による不良が相次いでいることから植生改善が不可欠である。 そのため、草地整備事業を実施することで栄養価の高い牧草収量が見込まれ、経営の安定化が図られるものである。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 自給飼料(草地)の生産性の向上と生産コストの低減が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 北海道が事業主体である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業は適期に草地整備事業を実施することで、栄養価の高い牧草収量を確保できることから、事業の見直しは検討していない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業実施による経済効果は、事業に要する経費を上回るため、事業計画は妥当である。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 農業農村整備事業を活用し、適切に事業を推進する。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 既に負担がある 本事業の補助率は、国50%、道25%、受益者25%である。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和5年11月